2021 年 World Rowing 通常総会 議事録

■2021 年国際ボート連盟(World Rowing)通常総会

開催期日:2021年11月6日(土)20~23時30分(日本時間)

開催方法:オンライン

■日本代表

坂 田 東 一 (会長) JSOS で参加

加藤直美 (アスリート委員長) 出張先のホテルで参加

千 田 隆 夫 (国際委員長) JSOS で参加、投票行為被委任者【日本は3票国(2017-2021年)】

■各議題の要旨

1. 開会

2. 各 MF 代表の確認とその権限の確認

- ・出席している Member Federation (MF) は 61 カ国 (投票総数は 56 カ国 138 票)
- ・男性 67%、女性 33% (2020 年は男性 82%、女性 18%)
- ・1 つの MF で複数代表出席の場合、投票行為ができるのは1名のみ

3. 投票集計者の指名

- ・オンライン投票プラットフォーム"LUMI"の担当者を指名
- 4. 2020 通常総会と 2020 臨時総会の議事録の承認 ⇒ ともに承認 (100%)
- 5. 会長の報告、副会長の報告、財務理事の報告
- ・Rolland 会長(紙面+口頭で追加):コロナ感染拡大で2020年のほとんどの大会が中止、1年遅れで開催した東京オリパラの運営は素晴らしい成功だとし、すべての関係者への最大限の謝辞

⇒承認 (100%)

- ・副会長&財務理事(紙面+口頭で追加)⇒ともに承認(100%)
- 6. 特別委員会委員長の報告 (紙面) ⇒全員承認 (100%)
- ・Rowing for all CommissionをCoastal Rowing CommissionとIndoor Rowing Commissionに再編
- ・Women's Rowing CommissionをGender Equality, Diversity & Inclusion Commissionに変更
- 7. 大陸代表&特任理事の報告 (紙面) ⇒全員承認 (100%)
- 8. 2020 財務状況の説明
- ・コロナ感染で大会が中止 (コマーシャル収入大幅減)
- ・東京オリパラの収益金の配分が1年遅れる
- ・コストカット(出張費、事務局スタッフ)
- ・IOC とスイス政府から融資
- ・400 万スイスフランの蓄え

9. 監査報告(PricewaterhouseCoopers SA)

- ・「スイス法に則っている」と紙面報告
- 10. 2020 財務状況の承認 ⇒承認 (100%)

11. 入会金と年会費の決定

変更なし

12. 2022 財務計画の承認

・2021-2024年の4年予算の中で、最近の状況を盛り込んで修正⇒承認 (100%)

13. 外部監査人の指名

・PricewaterhouseCoopers SA を指名⇒承認(100%)

14. これからの WR 大会とオリンピック&パラリンピックの報告

・2022 年世界選手権(ラシチェ、チェコ)のプロモーション・ビデオ

15. 次年度の通常総会の場所と日

・2022年9月26日(月)、ラシチェ、チェコ

16. 今後の世界選手権開催地

・新規応募なし

17. 大陸ローイング連盟及び他のローインググループの報告

〈定款 18 条で定める大陸ローイング連盟〉

- · African Rowing Confederation (紙面)
- · American Rowing Confederation (紙面)
- · European Rowing Confederation (紙面)
- Oceania Rowing Confederation (紙面)

〈定款 19 条で定めるローインググループ〉

- Arab Rowing Federation (紙面)
- · Balkan Rowing Association (紙面)
- · Commonwealth Rowing Association (紙面)
- · Coupe de la Jeunesse (紙面)
- South American Rowing Confederation (紙面)

18. 新規加盟申請とその承認

・新規申請なし

19. 理事会と常任理事会が下した決定の再考

提案なし

20. 理事と常任理事の選挙 ⇒所属 MF からの推薦状+各候補者の応援演説(1 名)のビデオあり

〈会長〉(候補者) Jean-Christophe Rolland (FRA) ⇒ **信任 100%**

<副会長>(候補者) Tricia Smith (CAN) ⇒ **信任 100%**

<財務理事〉(候補者) Gerritjan Eggenkamp (NED) ⇒ 信任 100%

<コースタルローイング委員長> (候補者)Guin Batten (GBR) ⇒ **信任 100%**

〈男女平等・多様性・包括性委員長〉(候補者)Jacomine Ravensbergen (NED) ⇒ 信任 96%

〈インドアローイング委員長〉(候補者)Filip Ljubicic(SRB) ⇒ **信任 100%**

〈常任理事になる委員長, 3名〉

(候補者 1) Rosie Mayglothling (GBR, Competitive Rowing Commission Chair) ⇒ 信任 94%

(候補者 2) Patrick Rombaut (BEL, Umpiring Commission Chair) ⇒ 信任 94%

(候補者 3) Eva Szanto (HUN, Events Commission Chair) ⇒ 信任 100%

21. これまでの議案に対する特別な提案

提案なし

22. 上記の議案以外の議案の提案

- 1) 2024 パリオリンピック予選システムの提案
 - ・10/6 までに各 MF より意見聴取済
- ・11/19-11/30 に再度意見聴取
- ・12/17 Draft 2を発表
- ・2022 年の 2/1 までに IOC へ種目案提出予定
- 2) コロナ感染の影響で 2020-2021 年の多くの大会が中止になった。したがって、2021-20224 年と 2025-2028 年の各 MF の投票数と年会費を決める、大会への参加クルー数の計算方法を再考する。
- ・2020年の参加クルー数は、2021年の世界ジュニア選手権、世界 U23選手権、オリンピック予選会への参加数を代用する。
- ・2021年分は、世界選手権、世界ジュニア選手権、世界 U23 選手権への参加クルー数をカウントする。

23. その他

- ・25年間にわたって常務理事を務めてきた Matt Smith 氏が 2021年末をもって退任する。
- ・その後任として、2022年1月1日より Vincent Gaillard 氏 (SWI) が就任する。
- ・Gaillard 氏の挨拶
- ・Matt Smith 氏に対する賞賛、感謝、ねぎらいの多数のスピーチがビデオで紹介された(延々と・・・)

以上